

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年3月12日(2020.3.12)

【公開番号】特開2018-42736(P2018-42736A)

【公開日】平成30年3月22日(2018.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2018-011

【出願番号】特願2016-179747(P2016-179747)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 6 E

【手続補正書】

【提出日】令和2年2月3日(2020.2.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

表示結果を導出させるために操作される導出操作手段と、

通常区間と有利区間とを含む複数種類の区間のうちのいずれかに制御可能な区間制御手段と、

第1状態と第2状態とを含む複数種類の状態のうちのいずれかに制御可能な状態制御手段と、

前記有利区間において前記導出操作手段の操作態様を報知する報知状態に制御可能な報知状態制御手段と、

有利度を設定可能な設定手段と、

前記区間制御手段は、

前記通常区間において有利区間移行条件が成立したときに前記有利区間に制御し、

前記有利区間において有利区間終了条件が成立したときに前記通常区間に制御し、

前記有利区間移行条件は、前記第1状態および前記第2状態のいずれにおいても、前記通常区間において同じ確率で成立し、かつ前記設定手段によっていずれの前記有利度が設定されても同じ確率で成立する、スロットマシン。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0007】

この発明は、上述した従来のスロットマシンに鑑み考え出されたものである。

## 【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0008】

(1) 各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、表示結果を導出させるために操作される導出操作手段と、通常区間と有利区間とを含む複数種類の区間のうちのいずれかに制御可能な区間制御手段と、

第1状態と第2状態とを含む複数種類の状態のうちのいずれかに制御可能な状態制御手段と、

前記有利区間ににおいて前記導出操作手段の操作態様を報知する報知状態に制御可能な報知状態制御手段と、

有利度を設定可能な設定手段と、を備え、

前記区間制御手段は、

前記通常区間ににおいて有利区間移行条件が成立したときに前記有利区間に制御し、

前記有利区間ににおいて有利区間終了条件が成立したときに前記通常区間に制御し、

前記有利区間移行条件は、前記第1状態および前記第2状態のいずれにおいても、前記通常区間ににおいて同じ確率で成立し、かつ前記設定手段によっていずれの前記有利度が設定されても同じ確率で成立する。

スロットマシンは、以下のように構成されてもよい。

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、

前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシン（たとえば、第3実施形態に係るスロットマシン1）において、

遊技者が表示結果を導出させるために操作する導出操作手段（たとえば、ストップスイッチ8L, 8C, 8R）と、

表示結果の導出を許容するか否かを決定する事前決定手段（たとえば、メイン制御部41による内部抽選処理）と、

通常遊技状態（たとえば、非ボーナス状態）よりも遊技用価値の付与を伴う付与表示結果（たとえば、小役の図柄組合せ）の導出が許容される確率が高い特別遊技状態（たとえば、B B）に制御する特別遊技状態制御手段（たとえば、メイン制御部41によるB Bに制御する処理）と、

前記導出操作手段の操作態様（たとえば、押し順）を報知する報知状態（たとえば、A T）に制御する報知状態制御手段（たとえば、メイン制御部41によるA Tに制御する処理）と、

有利度合い（たとえば、設定値）を設定する設定手段（たとえば、メイン制御部41による設定変更処理）とを備え、

前記特別遊技状態への制御を伴う特別表示結果（たとえば、B Bの図柄組合せ）の導出が許容される確率は、前記有利度合いに応じて異なり（たとえば、図38参照）、

前記報知状態制御手段は、前記特別遊技状態の終了後の遊技状態（たとえば、R T 4）において前記報知状態への制御期間を延長する延長制御（たとえば、上乗せ抽選）を実行可能であり、

前記延長制御に関する前記有利度合いの設定差はない（たとえば、図43(d)に示すように上乗せ抽選は当選確率に設定差がなく、かつ抽選契機となる上乗せリプレイ当選に

も設定差がない)。